

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

富士宮市長 須藤 秀忠

市町村名 (市町村コード)	富士宮市 (222071)
地域名 (地域内農業集落名)	富士根地域 (杉田、大岩、小泉地区)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年6月15日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・富士根地域は、なだらかな傾斜地にあり、茶園、畑地帯が広がっている。
 ・従来の経営基盤を継承し継続的に営農を営んでいる担い手や、茶園経営から露地野菜等への転換を志向する担い手などが存在。農地利用の傾向として、担い手が他地区に比べ多く、将来的な農地の引受意向面積も大きい。担い手の高齢化や、個人の担い手が多く規模拡大に限界があること、昨今の茶価の低迷を受け、茶園を手放したり茶園転換を図るなどの懸念材料も存在する。
 ・傾向として、5～10年後に、杉田地区全域で後継者のめどが立っていないなどの、要注意と思われる農地が拡大。
 ・地形的に、緩傾斜地や不整形農地が多数存在し、効率的な農地利用に支障を来している。

【地域の基礎的データ】

農業者:49人(うち法人8経営体)

主な作物:茶、露地野菜、花き・花木、施設園芸(いちご)など

(2) 地域における農業の将来の在り方

・農地利用効率化の推進:
 中間管理事業をはじめとする農地集積を進めつつ、農作業の効率化と生産性の向上を図るべく、圃場整備等の基盤整備事業の実施について議論を深める。加えて、西富士道路や東名・新東名高速道路との接続の良さから、産業基盤の形成に向けた主要道路等の整備が検討されてきた地域にもあたり、産業との調和のとれた土地利用を図る必要がある。
 ・産地化の推進:
 通常茶園、畑作のほか、有機茶にも取り組み、茶の輸出強化や有機茶の産地化に取り組む。また、落花生、キャベツをはじめとした露地野菜の産地化を推進する。
 ・担い手の確保:
 中間管理機構による農地のマッチングを進めつつ、外部から担い手を招聘するなど、積極的な担い手の活用を行う。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	261.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	196.5 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

<p>(1)農用地の集積、集約化の方針</p> <p>中心経営体の特色として、茶園、畑地帯を活用し高収益作物を栽培する畑作農家が多く、比較的経営基盤が安定している。意欲的な担い手が多く、集積も比較的進んでいるが、農地の区画が狭小であり、かつ経営農地が点在することで、ランニングコストが増大している。今後、各種補助事業を活用してスマート化を図るなど、効率的な農作業に向けた環境整備に取り組みつつ、圃場整備をはじめとした農地の集団化を促進し、収益力向上に取り組む。</p>
<p>(2)農地中間管理機構の活用方針</p> <p>農業上利用が行われる農地について、積極的に農地中間管理機構を活用し農地集積を行う。</p>
<p>(3)基盤整備事業への取組方針</p> <p>中間管理事業をはじめとする農地集積を進めつつ、農作業の効率化と生産性の向上を図るべく、圃場整備等の基盤整備事業の実施について議論を深める。併せて、農地の維持保全管理を進める地元の組織形成や後継者育成など、圃場整備後の体制整備について、関係機関と情報共有を図りながら検討を進める。</p>
<p>(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針</p> <p>市と農協、県が連携し、担い手の外部からの招聘と育成に取り組みつつ、既存集落内の担い手たちの意向に沿った経営農地のあっせん等に取り組む。</p>
<p>(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針</p> <p>現在、活用予定はない。</p>

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨その他		
<p>【選択した上記の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作業の機械化を進め、各農家の実情に合った形でスマート農業の導入を図る。 ・有機茶の振興を図るため、みどりの食料システム戦略における「有機農業産地づくり推進」などに取り組む。 ・圃場整備の要望のある杉田地区では、圃場整備の実施に向け取り組む。 ・鳥獣被害対策を推進する。 									